

第184回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成23年7月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,625	-1.21	-0.12	4,065	-0.04	-0.07
東部地区	14,428	0.50	0.00	5,754	1.16	-0.13
西部地区	10,605	-0.92	-0.04	4,002	-0.29	0.00
駅南地区	6,296	0.17	-0.31	2,697	1.01	-0.47
半田地区	3,626	0.27	0.22	1,374	0.73	0.29
横山地区	5,667	0.01	0.01	1,899	1.17	0.00
茨目・田尻地区	6,991	0.41	0.07	2,379	1.57	0.33
荒浜地区	5,101	0.39	-0.39	2,041	1.74	-0.24
その他地区	20,403	-1.58	-0.12	7,182	0.11	0.06
西山町地区	6,208	-1.33	0.00	2,137	0.65	0.18
高柳町地区	1,838	-4.56	-0.21	826	-2.59	-0.24
柏崎市計	90,788	-0.62	-0.08	34,356	0.53	-0.02
刈羽村	4,873	-0.12	0.02	1,576	1.61	0.25
小国地区（長岡市）	6,169	-2.43	-0.14	2,113	-0.98	-0.14
出雲崎町	5,093	-0.79	0.00	1,805	-0.05	0.22
合計	106,923	-0.71	-0.07	39,850	0.46	-0.01

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で573人、0.62%、刈羽村で6人、0.12%、小国地区（長岡市）で154人、2.43%、出雲崎町で41人、0.79%とそれぞれ減少し、全体では774人、0.71%の減少となっている。また、前月比においては、刈羽村で1名0.02%増加したが、柏崎市で74人、0.08%、小国地区で9人、0.14%、減少したため、全体では82人、0.07%減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で21世帯、0.98%、出雲崎町で1世帯、0.05%と減少したが、柏崎市で183世帯、0.53%、刈羽村で25世帯、1.61%と増加したことから、全体では186世帯、0.46%の増加となった。また、前月比においては、刈羽村で4世帯、0.25%、出雲崎町で4世帯、0.22%増加したが柏崎市で10世帯、0.02%、小国町で3世帯、0.14%減少した結果、全体では5世帯、0.01%減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,151		16.49		-0.77	
月間有効求職者	2,248		0.04		-8.72	
月間有効求人倍率	0.51	0.67	0.07*	0.10*	0.04*	0.02*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,151人と前年同月比で163人、16.49%の増加となったが、前月比では9人、0.77%減少している。

月間有効求職者数は、2,248人と前年同月比で1人、0.04%の増加となったが、前月比では215人、8.72%の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.51倍と前年同月比で0.07ポイント上回り、前月比でも0.04ポイント上回っている。なお、県平均0.67倍と比べると0.16ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が529人と前年同月比で136人、34.60%の増加、月間新規求職者数が510人と前年同月比で25人、4.67%減少した結果、月間新規求人倍率は1.04倍となり、前年同月の0.73倍に比べて0.31ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成23年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	41	24	16	139	35
共 同 住 宅	0	0	-1	5	3
事 務 所	0	-1	0	3	0
作 業 所・工 場	1	-2	-1	7	1
営 業 建 物	1	-1	-3	10	3
公 共 建 物	0	0	0	0	0
そ の 他	8	2	0	42	-7
合 計	51	22	11	206	35

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況については、平成23年3月までは市受付分のみの集計でしたが、平成23年4月からは民間確認検査機関の受付件数を含む集計を掲載しております。なお、対前年同月比は平成24年3月分までは市受付分との対比となっております。当月の申請合計は51件と前年同月比で22件の増加、前月比では11件の増加となっております。なお、工種全体の申請内容は、新築が30件、増築が18件、改築が3件となっており、また一般住宅（併用）41件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が26件（うち新築14件、増築12件、）、市外施工業者が14件（うち新築10件、増築2件、改築2件）、未定1件となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,432	0.63	0.03	16,209	-1.03	7.81
電 力	10,645	-2.57	-0.29	40,637	-8.15	9.27

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で411口、0.63%の増加、前月比でも26口、0.03%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で281口、2.57%減少し、前月比でも32口、0.29%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で170kwh、1.03%減少したが、前月比では1,175kwh、7.81%増加している。一方、電力においては、電力不足による節電効果から前年同月比で3,606kwh、8.15%減少したが、前月比では3,449kwh、9.27%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	809,969	-4.56	-25.25	693,247	-0.02	-2.63
営 業 用	221,794	-10.31	25.20	119,719	-3.15	3.43
工 場 用	832,594	2.30	20.60	141,661	-3.27	11.11
官 公 学 校 用	430,567	-7.09	82.09	101,400	-0.15	14.05
そ の 他				60	5.26	42.85
合 計	2,294,924	-3.30	4.90	1,056,087	-0.84	1.13

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で78,363m³、3.30%減少したが、前月比では107,297m³、4.90%の増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では、工場用を除くすべての用途で減少しており、前月比では家庭用を除くすべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で9,024m³、0.84%の減少となったものの、前月比では11,892m³、1.13%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除くすべての用途で減少、前月比では家庭用を除くすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	99,809	-5.92	13.25	104,381	-8.28	14.03
西 山	43,172	-9.17	11.62	41,385	-8.65	15.24
米 山	25,513	-11.21	25.66	23,924	-10.50	25.31
合 計	168,494	-7.60	14.53	169,690	-8.69	15.80

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で13,870台、7.60%の減少となったが、前月比では21,388台、14.53%と大幅に増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で16,166台、8.69%の減少、前月比では23,153台、15.80%の大幅な増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比ではすべてのインターの入口・出口で減少しており、前月比はすべてのインター入口・出口で大幅に増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	364,285	1.33	-0.08	148,462	0.40	-0.85
平 残	364,329	1.18	-0.54	148,042	1.02	-0.03

預金は、末残が前年同月比で4,797百万円、1.33%増加しているが、前月比では307百万円、0.08%減少している。平残においても、前年同月比で4,281百万円、1.18%増加したが、前月比では1,997百万円、0.54%の減少となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で593百万円、0.40%の増加となったが、前月比では1,282百万円、0.85%減少している。また、平残においても、前年同月比で1,501百万円、1.02%増加したが前月比では55百万円、0.03%の減少となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	25,740	-9.60	-9.65
交 換 金 額	13,908	-5.42	-30.14
不 渡 り 手 形 枚 数	2	-86.66	100.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-97.90	41.81

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で2,736枚、9.60%の減少、前月比でも2,752枚、9.65%減少している。また、交換金額においては前年同月比で799百万円、5.42%減少しており、前月比では6,002百万円、30.14%の大幅な減少となっている。なお、不渡手形は2枚、15万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産11件（前年同月6件、前月6件）、負債総額63億円（同22億円、同3億円）となっている。地区別では、下越地区で9件（新潟市8件、阿賀野市1件）、上越地区2件（上越市1件、糸魚川市1件）、発生し、中越地区では発生していない。業種別は、サービス業4件、建設業2件、製造業1件、運送業1件、小売業1件、その他2件となっており、倒産原因については、販売不振7件、放漫経営1件、設備投資の失敗1件、その他2件となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で5件の増加となり、負債総額では40億円の増加となっており、前月比でも件数は5件増加し、負債総額は59億円増加している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が3件発生している。

以上のように、倒産の件数及び負債総額は大幅に増加している。これまでの不況や震災の影響などから苦しい経営を強いられている企業も少なくないとみられ、業績の改善や利益確保が困難な企業が増加することが予測され、今後の倒産件数は高水準で推移していく可能性が高まっている。